

1年 技術科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p style="text-align: center;">材料と加工に関する技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 ・木材, 金属, プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。 ・身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して, 構造と部材を丈夫にする方法について理解している。 ・材料と加工の技術の概念について理解している。 ・製作に必要な図の描き方を理解している。 ・製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。 <p style="text-align: center;">情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。 	<p style="text-align: center;">材料と加工に関する技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り, 「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 ・構想に基づいて, 製作の計画を立てることができる力を身に付けている。 ・材料と加工の技術の最適化について考えている。 <p style="text-align: center;">情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術に込められた工夫を読み取り, 「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 	<p style="text-align: center;">材料と加工に関する技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。 ・他者と協働して, 粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの問題解決を振り返り, よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。 <p style="text-align: center;">情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に情報の技術について考えようとしている。
評価方法	○授業観察、定期考査、ワークシート	○授業観察、ワークシート、定期考査	○授業観察、ワークシート
カテゴリ	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～80%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

2年 技術科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	<p style="text-align: center;">生物育成の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物を育てる技術の目的について理解している。 ・動物を健康に育てるための技術について理解している。 <p style="text-align: center;">情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。 ・情報のデジタル化の仕組み, デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。 ・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。 <p style="text-align: center;">エネルギー変換の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 ・発電の仕組みと特徴について理解している。 ・電源の種類と特徴や, 送電・配電の仕組みを理解している。 ・機械が運動を伝える仕組みについて理解している。 	<p style="text-align: center;">生物育成の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り, 「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 ・育成する作物に適した環境条件について考えている。 <p style="text-align: center;">情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術に込められた工夫を読み取り, 「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 <p style="text-align: center;">エネルギー変換の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。 ・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り, 「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 	<p style="text-align: center;">生物育成の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に生物育成の技術について考えようとしている。 ・他者と協働して, 粘り強く取り組もうとしている。 <p style="text-align: center;">情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に情報の技術について考えようとしている。 <p style="text-align: center;">エネルギー変換の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。 ・電気による事故を防ぐ方法について考えている。 ・他者と協働して, 粘り強く取り組もうとしている。
評 価 方 法	○授業観察、定期考査、ワークシート	○授業観察、ワークシート、定期考査	○授業観察、ワークシート
カ テ ィ ン グ ホ イ ン ト	90～100%・・・「5」 80～90%・・・「4」 50～80%・・・「3」 20～50%・・・「2」 0～20%・・・「1」	それぞれの観点別評価は原則として 「A」・・・80%以上 「B」・・・50%以上 「C」・・・50%未満	

3年 技術科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>エネルギー変換の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気機器の安全な使い方について理解している。 機械の共通部品と保守点検の大切さについて理解している。 <p>情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる技能を身に付けている。 情報セキュリティの基本的な知識について理解している。・計測・制御システムの基本的な構成を理解している。 計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。 安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。 	<p>エネルギー変換の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気による事故を防ぐ方法について考えている。 エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 <p>情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。 情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。 	<p>エネルギー変換の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。 <p>情報の技術</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けようとしている。 情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。 主体的に情報の技術について考えようとしている。 自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。
	評価方法	○授業観察、定期考査、ワークシート	○授業観察、ワークシート、定期考査
カテゴリ	90～100%・・・「5」	それぞれの観点別評価は原則として	
ポイン	80～90%・・・「4」	「A」・・・80%以上	
ト	50～80%・・・「3」	「B」・・・50%以上	
	20～50%・・・「2」	「C」・・・50%未満	
	0～20%・・・「1」		



3年数学科 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>[1章 多項式] 単項式と多項式の乗法、多項式を単項式で割る除法の計算をすることができたか。簡単な1次式の乗法の計算、簡単な式の展開や因数分解をすることができたか。</p> <p>[2章 平方根] 数の平方根の必要性和意味を理解できたか。数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができたか。</p> <p>[3章 2次方程式] 2次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解できたか。解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができたか。因数分解を利用して2次方程式を解くことができたか。</p> <p>[4章 関数] 関数のグラフを現したり</p>	<p>[1章 多項式] 式の展開や因数分解する方法を考察し表現でき、文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明できたか。</p> <p>[2章 平方根] 数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現でき、数の平方根を具体的な場面で活用できたか。</p> <p>[3章 2次方程式] 平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現でき、具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうか</p>	<p>[1章 多項式] 式の展開や因数分解をすることの必要性和意味を考へ、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。</p> <p>[2章 平方根] 数の平方根の必要性和意味を考へ、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。</p> <p>[3章 2次方程式] 2次方程式の必要性和意味を考へ、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。</p> <p>[4章 関数] 関数の意味を考へ、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。</p> <p>[5章 相似な図形] 図形の相似の意味、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考へ、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。</p> <p>[6章 円] 円周角と中心角の関係を見いだそうとし、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。</p> <p>[7章 三平方の定理] 三平方の定理を見いだそうとし、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。</p> <p>[8章 標本調査] 標本調査の必要性和意味を理解できたか。</p>
	<p>[5章 相似な図形] 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解できたか。相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解できたか。基本的な立体の相似の意味を理解し、相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係について理解できたか。</p> <p>[6章 円] 円周角と中心角の関係を理解し、大きさを求めることができたか。</p> <p>[7章 三平方の定理] 三平方の定理の意味を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができたか。</p> <p>[8章 標本調査] 標本調査の必要性和意味を理解できたか。</p>	<p>し、表、式、グラフを相互に関連付け、具体的な事象を捉え、考察し表現できたか。</p> <p>[5章 相似な図形] 三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができたか。平行線と線分の比についての性質を見いだし、それらを確かめられ、相似な図形の性質を具体的な場面で活用できたか。</p> <p>[6章 円] 円周角と中心角の関係を見いだせ、具体的な場面で活用できたか。</p> <p>[7章 三平方の定理] 三平方の定理を見いだせ、具体的な場面で活用できたか。</p> <p>[8章 標本調査] 標本調査の必要性和意味を理解できたか。標本調査の必要性和意味を理解できたか。標本調査の必要性和意味を理解できたか。標本調査の必要性和意味を理解できたか。</p>	<p>[5章 相似な図形] 図形の相似の意味、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考へ、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。</p> <p>[6章 円] 円周角と中心角の関係を見いだそうとし、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。</p> <p>[7章 三平方の定理] 三平方の定理を見いだそうとし、学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返り検討しているか。</p> <p>[8章 標本調査] 標本調査の必要性和意味を理解できたか。標本調査の必要性和意味を理解できたか。標本調査の必要性和意味を理解できたか。標本調査の必要性和意味を理解できたか。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシートの記入、提出状況 ・定期考査 ・小テスト ・レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシートの記入、提出状況 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシートの記入、提出状況 ・レポート
ポイント	<p>90～100%・・・「5」</p> <p>80～90%・・・「4」</p> <p>50～80%・・・「3」</p> <p>20～50%・・・「2」</p> <p>0～20%・・・「1」</p>	<p>それぞれの観点別評価は原則として</p> <p>「A」・・・80%以上</p> <p>「B」・・・50%以上</p> <p>「C」・・・50%未満</p>	

生徒が、どのように取り組んでいるか、どのように取り組もうとしているか。
(主語は【生徒が】「・・・している。・・・しようとする。」と書く。)

具体的に、どのような事で評価を行うのか。
評価資料などを書く。

カッティングポイントは、変更しない。学校で統一しています。

